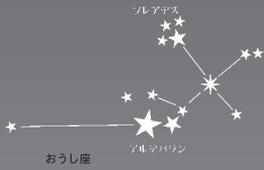


ポラリスを仰ぐ北の大地から



4年間の医師会長経験

富良野医師会 前会長 石澤 秀明

4年前に、富良野医師会長になり、富良野医師会員のご協力はもちろん、道医道北ブロック、道医の関係する諸先生のご助言などを頂きながら、どうか無事にその任を終えることができましたことを、大いに感謝しながらこの文章を書くことになりました。

在任中の記憶として、大きく残っていることは、やはり富良野医師会50周年記念事業を行ったことですので、その関係のことを記しておきたいと思います。

40周年記念式典を平成19年3月に行っていましたので、50周年記念式典については平成29年に行うと考えていましたが、実際には平成28年10月22日に式典・祝賀会を開催し、平成29年2月25日に市民向けの記念講演会を行いました。

式典には、長瀬北海道医師会長をはじめとして、圏域の市町村長も含め多くの方々にご参加いただき、盛大に挙行できましたこと、大変感謝しております。祝賀会では津軽三味線の余興に、当医師会の芸能担当である加藤先生の尺八も加わり、大変、楽しい時間を過ごすことができましたと思っています。

記念講演会の講師として、NHKのグレートトラバースという番組に出演している田中陽希氏をお招きしたところ、彼が小学生の頃、富良野市に在住していたことも関係しているとは思いますが、500人を超える聴衆の参加があり、講演内容も世界を股に掛けた冒険譚で、これも盛況だったと言えます。

その他の50周年関連事業としては、富良野医師会創立50周年誌を発行したこと、南富良野町の台風被害に100万円の寄付をさせていただいたことがあります。

私自身は、そろそろ隠居でもしようかと思っているところではありますが、改めてこの4年間のご協力、ご援助に感謝申し上げ、富良野医師会のさらなる発展を祈念しながら、擱筆といたします。



丘のまちびえい

上川郡中央医師会 会長 藤原 正文

美瑛町で内科医院を開業して今年で19年目になる。昨年8月は連続した台風による大雨のため、美瑛町内で約50年ぶりに河川の氾濫による被害が出た。浸水被害はあまりひどくなかったが、美瑛川上流にある水道の取水管が損傷したため減圧給水による給水制限が施行された。当院では透析療法をしており、貯水槽の水量が一時半分以下に低下したため透析を継続できるか心配されたが、すぐに上富良野町の自衛隊の給水車をスタンバイさせていると役場から連絡があった。幸い給水車のお世話にはならなかったが、隣町に自衛隊がいるという頼もしさを感じた。

美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、近隣の富良野市と共に北海道を代表する観光地のひとつとして知られる。世界遺産白川郷のある岐阜県白川村などと共に「日本で最も美しい村連合」に加盟しており、その事務局は美瑛町に置かれている。キャッチフレーズは「丘のまちびえい」である。自然が豊かであることに加え、交通アクセスは旭川市中心部まで車で30分以内、また旭川空港までは15分以内と良好である。四季折々の丘陵風景はよくテレビで紹介され、映画のロケや写真撮影も盛んに行われている。観光客に人気であるばかりでなく、北海道内外からの移住者も多い。この地域は地震の発生がほとんどなく、同じ町内会に住む東京から移住してきた人は、日本中の地震の発生頻度や活断層の分布図を調べて、美瑛町に移住することを決めたとのことであった。

桜が咲き始める頃から今頃の季節に見られる風景が個人的には最高であると思っている。丘から望むパッチワーク状の田園風景とまだ山頂が真っ白な旭岳や十勝岳などの大雪山連峰を背景にした大パノラマ像は、唯一無二のものである。これは写真や映像では絶対に伝えられない景色である。ぜひ実際に「丘のまちびえい」に来ていただき確かめていただきたいと思う。